

歴史時代の富士山噴火と巨大地震

西暦(年)

富士山噴火

近隣地域の巨大地震



※ ▲は信頼性の高い史料に記述された噴火。内閣府の資料などを基に作成



一十月三日午後八時
 大地震日中品六時色
 大地震物光家七様
 其多後打續少く
 心 後で縁不戸物光家
 士山し中志九月時分
 已来也余程し地震
 七度交後有くおら
 十月三日正午強地震
 救多一月し間十五世
 おこし地震救不効
 里七地震救不効
 一霜月七日正午分
 及書六分近七地震

七七八度十度有る
 救入し地震後有る
 有く其救不効日古
 物五分さ大地震日也
 時分是亦大地震後連
 富士山鳴響響布
 山し崩れ有る
 寸さ局交馬雲お東
 亦後有る同時火
 墜山更福布干石
 大或七葉谷或大天目
 得く大石車軸のし
 附中或比海化水
 二やぐたけ敷ゆ中
 火中お火杯横室
 上は中一時燃付

中山信し是家と加
 有り九情中家杯一
 只形之形は燈山七
 分火石降止中如人
 少時お法し
 敷のし与又福及砂
 附中更太或大
 或十小更恒の方
 七或之守行并附
 形下之三人余并
 を救中更し鳴山
 車後貴しと并救
 震し鳴減之使
 大比響山七太地震
 崩れ有る千響天障
 し鳴動忽家潰杯
 至為危之仕山地
 人民肝魂茶消し

一月廿一日 宿申より宿野へ 宿野に宿して宿野より

二宿野より宿野へ宿野より宿野へ宿野より宿野へ宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

宿野より宿野へ宿野より宿野より宿野より宿野より宿野より

此中ハ 舊入の事也。一海地震は、中江地震といふ一帯に於て
中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。

一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。

一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。
一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。一海地震は、中江の時也。

上ノ事也 伊志摩古伝 岩波院 刊

